



方針 豊かな遊びを通して、生活する力・遊ぶ力・考える力・楽しむ力を育む  
目標 ・毎日が楽しい子ども  
・自分もみんなも大好きな子ども  
・のびのびと表現できる子ども

## 入園・進級おめでとうございます！

4/6に入園式を行いました。今年度は18人が新たに入園しました。保護者の方と一緒にみんな泣かずに参加していましたよ。在園児代表として年長のこぶしぐみの園児が歓迎の歌を披露し、こども園の先輩として頼もしい姿をみせてくれました。

4/1には3歳以上児クラスの園児がホールに集まり、進級式を行いました。一つずつ大きなクラスになったこと、担当する大人が変わることを伝えました。晴れやかな表情の子が多く、新生活を楽しみにしている様子が伺えました。

中には部屋や先生が変わったり、新たな環境での生活に不安な様子を見せるお子さんもいらっしゃると思います。園が安心できる場になるように職員一同努めていきます。ご心配やご質問がありましたらいつでもどの職員にでもお声かけください。一年間どうぞよろしく願いいたします。

## より身近な存在でありたい(職員の呼び方について)

2年前から環境整備に取り組み、他園の視察や研修で学ぶ中で、保育者ははたして「先生」なんだろうか？との自問自答を続けてきました。「先生」=「何かを教える人」とイメージする方が多いのではないかと思います。私たち職員は、乳幼児期の子どもは教えられることよりも、日々の遊び(=この時期の子どもたちにとっては生きることそのもの)の中で自ら獲得する(育つ)方が各段に多いことを日々実感しています。自ら育つ子ども達の暮らしを支える大人であれば、「先生」ではない呼び方が相応しいのではないかと話し合い、職員どうしは、お互いを名前で呼び合うことにしました。子ども達にはこれまでどおりの呼び方でも、名前で呼んでくれても、どちらでもいいよと伝えています。



職員の呼び方の変化は、子ども達の暮らしを支える身近な存在でありたいとの思いを表しているのご理解いただけると嬉しいです。

## 4月の行事

- 14日(金) 歯科検診・フッ素塗布
- 25日(火) 避難訓練

## お願い

### \*5/6の土曜保育の申請について

5/6の土曜保育を利用される方は4/26(水)の正午までにお申込みください。GWのため通常の締切日とは変わりますのでご注意ください。

## 遊びを見守る

以前もお伝えした内容ですが、年度のスタートにあたり、子どもと遊びについて保護者の皆さんと改めて共有したいと思います。

子どもたちは毎日いろいろな遊びに挑戦する中で、頭と身体をたくさん使って様々な経験を重ね、生きるために必要な力を獲得し、能力を高めています。日々の遊びの中で、あれこれ考えながら試行錯誤し、自分



のタイミングで挑戦しながら、だんだんイメージどおりに身体を動かすことが出来るようになります。うまくいかないこともあります。それでも子どもは挑戦を繰り返します。

乳幼児期に大切なのは、安心できる環境の中で、自分自身のやりたいことを見つけ、試行錯誤すること。何かが「できる」ことよりも「試す過程」こそ大切なのです。バーチャルの世界ではできない自分自身の身体を使った体験が、未来を切り拓いていく大切な力になります。



そのために、保護者の皆さんには園での子どもの遊びに関する『見守り3か条』をお願いします。

### 1 手伝わない

自力で登る体力・判断力こそケガ防止につながります。

### 2 「頑張って」「できるよ」「こうしたらいいよ」などは言わない

大人の期待に応えようとして、子ども自身の判断を狂わせる恐れがあり、危険につながります。

### 3 途中でやめるのも「よし」「あり」とする

子どもが自分で感じて考えて、今はやめる・やらないという場合は危険が回避され、結果、安全につながります。大人はそのときの子どもを選択を尊重して、心の中で次の挑戦を応援してください。

## 業務で使用しています

職員は次のような業務で携帯電話を使用します。

- ① 登降園状況の確認
- ② ドキュメンテーション作成のための写真等の撮影
- ③ ドキュメンテーションの作成
- ④ 保育に必要な情報の収集

\* 個人情報が流出しないよう最大限注意します。